

## 福島市ゆかりの選手たち

*Olympic and Paralympic Games*

TOKYO  
2020

## 大会で活躍した福島市ゆかりの選手たち

# 感動をありがとう

東京2020大会では、  
福島市出身の選手3名と監督2名が  
日本代表として出場されました。  
皆さんの活躍は、福島市民をはじめ、世界中に多くの  
感動と勇気を与えてくれました。



### ◆ハンドボール男子日本代表

かさほら けんや  
笠原 謙哉 選手

生年月日：1988年5月15日

ポジション：PV(ピボット=ポスト)

所属チーム：トヨタ車体BRAVE KINGS(東京2020大会当時)

※現在はHordur(ISL)所属

出身校：信夫中学校・聖光学院高等学校・東海大学

写真提供：JHA/Yukihito TAGUCHI

ハンドボール男子日本代表「すいせい彗星 JAPAN」のメンバーとして出場した笠原選手は、1次リーグの全5試合に先発し、ディフェンスの要として、そしてチーム最年長としてチームを支える熱いプレーを見せてくれました。予選敗退とはなりましたが、最終戦で強豪国ポルトガルを31-30で下し、オリンピックの舞台では33年ぶりとなる勝利を挙げました。



写真：AFP/アフロ

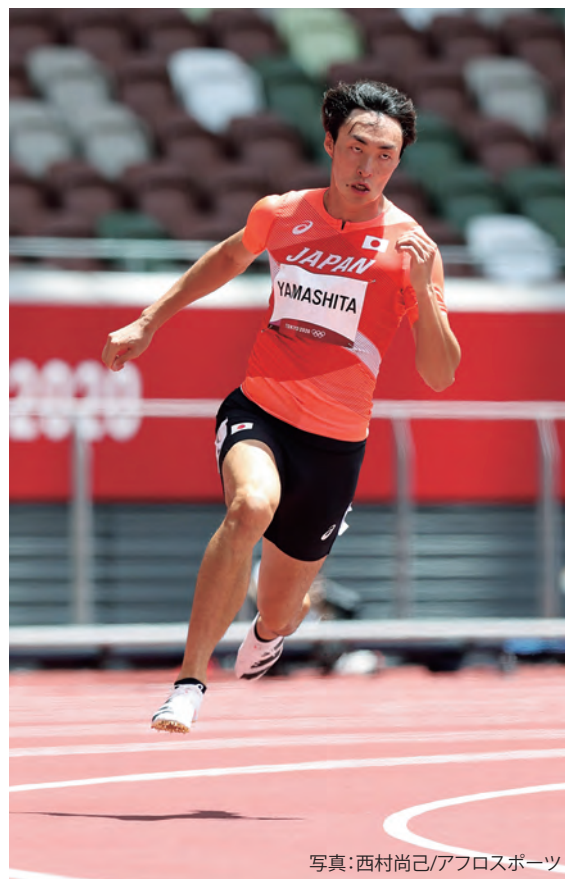


◆陸上男子200m日本代表

やました じゅん  
山下 潤 選手

生年月日：1997年8月23日  
所属：ANA  
出身校：福島大学附属中学校・  
福島高等学校・  
筑波大学

父・訓史<sup>のりあき</sup>さん、兄・航平<sup>こうへい</sup>さんに続いてオリンピックの日本代表に選出された山下選手。予選突破とはなりませんでしたが、20秒78を記録し男子200m日本代表選手の中では最高タイムをマークしました。



写真：西村尚己/アフロスポーツ



◆パラ陸上女子100m・400m  
(視覚障害T13)日本代表

ささき まな  
佐々木 真菜 選手

生年月日：1997年9月2日  
所属チーム：東邦銀行陸上競技部  
出身校：福島県立盲学校  
(中等部・高等部)

400m (T13) の日本記録、アジア記録保持者である佐々木選手は、100m予選を自己新記録12秒96の好タイムをマークするも予選敗退。400mでは決勝を58秒05で走りきり、見事7位入賞を果たしました。



写真：森田直樹/アフロスポーツ



写真: JFA/アフロ

◆サッカー女子日本代表

たかくら あさこ  
高倉 麻子 監督

生年月日：1968年4月19日

出身校：福島第三中学校・福島成蹊女子高等学校(現福島成蹊高等学校)・和光大学

自身も日本代表選手として1996年のアトランタオリンピックに出場経験のある高倉さんは、2016年にサッカー女子日本代表「なでしこJAPAN」の監督に就任(2021年8月31日退任)。今回の東京オリンピックでは、グループステージ3位で通過するも、準々決勝でスウェーデンに1-3で敗れベスト8で敗退しました。



写真: 毎日新聞社/アフロ



◆ボッチャ日本代表

むらかみ みつてる  
村上 光輝 監督

生年月日：1974年8月1日

出身校：福島第三中学校・福島東高等学校・順天堂大学

ボッチャ日本代表「火ノ玉JAPAN」監督の村上さんは、今大会でも金(個人: すぎむら ひでたか 杉村英孝選手)、銀(ペア: かわもと けいすけ 河本圭亮選手、たかはし かずき 高橋和樹選手、たなか けいこ 田中恵子選手)、銅(チーム: ひろせ たかゆき 杉村英孝選手、ひろせ たかゆき 広瀬隆喜選手、なかむら たくみ 中村拓海選手)の計3個のメダル獲得に導きました。

